

●世界の教育機関との連携・
次世代を担う人材の育成にも重点

世界最先端のアニメーションアートを鑑賞できる当大会には、オーストラリア、スウェーデン、ノルウェー、ロシア、中国、韓国等、様々な国の学校の先生が多くの学生を連れて参加しています。



セミナーの様子

また、年間を通じて小・中学生を対象にしたアニメーション制作教室やパラパラアニメーションコンテスト、美術教員へのアニメーション制作ワークショップや、中・高等学校での特別授業の実施、中学校美術部を対象にしたアニメーション制作支援なども行っています。さらに国際アニメーション・デー（10月28日）に合わせた市内外の美術館等での受賞作品の上映会など、アニメーションの普及を目指し、市民のみならずが楽しめる関連事業も実施しています。



国際アニメーション・デー 2018



アニメーションワークショップ 2017

●企業やプロダクションの
プレゼンテーションの場の提供

映画祭の会場では、プロのアニメーション作家やプロダクション等の企業による作品の持ち込み上映やプレゼンテーションが行える「ネクサス・ポイント」や、プロを目指す若者の発表の場である「フレーム・イン」を提供しています。いずれも無料でご利用頂くことができます。

●日本・地域文化等の魅力紹介

映画祭を訪れる海外からの多くのゲスト（作家、映像関係者）に対し、ボランティアの協力を得て、日本の文化や世界遺産等の地域の魅力や産業等を紹介し体験してもらうなど、ホスピタリティの充実と誘客促進に向けた取組も行っています。



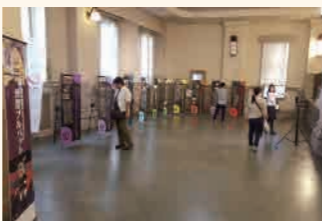
匹見映ピクニック

●街の賑わいづくり、
地域活性化への取り組み

旧日銀広島支店での100日前記念イベントや、本通りパレードなどの街の賑わいづくり、地域活性化への取り組みも実施しています。



本通りパレード



広島国際アニメーションフェスティバル
100日前イベント

ごあいさつ

皆様

平素より、広島国際アニメーションフェスティバルへの温かいご支援を賜り、誠に有り難うございます。

当大会は、「国や言語を超えた人類共通のメディアであるアニメーションは、平和および全ての人々の相互理解を深めるのに役立つことができる」という国際アニメーションフィルム協会/ASIFAの心と、世界の恒久平和を願う広島市の心とを重ね、1985年、被爆40周年記念事業として創設されました。そして、制作者の立場を大切にす映画祭として、国際的に高い評価を得て継続して参りました。

アニメーションは、音楽、美術、文学、歴史、哲学、科学、自然、空想など、人間が織り成すあらゆる文化を総合し、より人間的な優しさを追求する芸術です。アニメーションとは、生命の無いものに生命を与えるということです。今後共、アニメーションアートの振興を通じた国際異文化交流の促進が、あらゆる芸術文化を花開かせ、平和への確固とした礎になるよう、真摯に情熱をもって取り組んで参ります。

現在、第18回大会 HIROSHIMA 2020（2020年8月20日～24日開催）に向けて、事務局一同、準備に専心しております。

制作者の皆様は、素晴らしいアニメーション作品を、ぜひ、コンペティションにご応募ください。また、映画祭期間中、持ち込みで上映やプレゼンテーションができる場所もあります。観客の皆様、会場には国内外から多くの才能ある作家たちが参加いたします。作品を観るだけでなく、異文化交流も楽しんでいただければ幸いです。

2020年8月、HIROSHIMA 2020でお会いできることを楽しみにしております。

2019年春
木下小夜子
フェスティバル・ディレクター

THE 18TH INTERNATIONAL ANIMATION FESTIVAL IN JAPAN

HIROSHIMA 2020



2020年8月20日(木)～24日(月)
JMS アステールプラザ

第18回 広島国際アニメーションフェスティバル

●「国際平和文化都市」をかかげる広島市を代表する文化事業

広島国際アニメーションフェスティバルは、アニメーション芸術を通じ、世界の恒久平和を願う「愛と平和」を希求する映画祭です。被爆40周年にあたる1985年に第1回を開催し、その後、2年に1度開催しています。常に映像技術進展への対応も図りつつ、さらに内容を充実し、広島市内をはじめ県内外、海外からのより多くの来場者の皆様に感動を与える映画祭を目指し、アニメーション芸術の振興に努めています。



●世界の第一線の作品、作家が集結

世界各国・地域から応募された作品（第17回大会では、88か国・地域、2,842作品）のうち第一次選考審査を通過した作品を公開審査し、グランプリ、ヒロシマ賞、デビュー賞、木下蓮三賞などの優秀作品を表彰するコンペティション、国内外の著名なアニメーション作家の作品や子ども向けの作品などの特別プログラム、展示やセミナー、ワークショップなどで構成する総合的なアニメーション映画祭です。

●世界4大アニメーション映画祭の1つ

国際アニメーションフィルム協会 (Association Internationale du Film d'Animation - ASIFA) が公認する世界の4大アニメーション映画祭 (アムシー、ザグレブ、オタワ、広島) の1つと呼ばれ、上映プログラムの質の高さと作品数の多さは常にトップクラスを誇っています。

●米国アカデミー賞および
アニメ賞公認の映画祭

アジアで唯一のアカデミー賞およびアニメ賞公認のアニメーション映画祭です。アカデミー賞ではグランプリがオスカーノミネート選考対象となり、アニメ賞ではグランプリとヒロシマ賞の両方がノミネート選考対象となります。これまで多くの受賞作家や世界的な巨匠が訪れています。

●世界で活躍する作家を輩出
プロへの登竜門的映画祭

世界で活躍する作家を多く輩出してきたプロへの登竜門的映画祭としても知られています。毎回、優れた才能を発掘すべく、各国の制作会社や配給会社なども多く参加しています。

第1回大会グランプリ『おんぼろフィルム』
手塚 治虫



© TEZUKA PRODUCTIONS

第8回大会優秀賞『老人と海』
アレクサンドル ベトロフ



©1999 Productions Pascal Blais, Inc., IMAGICA Corp., Panorama Animation Film Studio of Yaroslavl

第9回大会グランプリ『父と娘』
マイケル デュドク ドウ ヴィット



©2000 - Cloudrunner Ltd and CinéTé Filmproduktie bv

【お問い合わせ先】

広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会事務局 〒730-0812 広島市中区加古町4番17号 JMS アステールプラザ内
Tel : 082-245-0245 Fax : 082-504-5658 E-mail : hiroanim@hiroanim.org ホームページ URL : http://hiroanim.org



2019年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業 文部科学省

主催：広島国際アニメーションフェスティバル実行委員会、広島市、公益財団法人広島市文化財団 共催：国際アニメーションフィルム協会日本支部 (ASIFA-Japan) 公認：国際アニメーションフィルム協会 (ASIFA)